

ほっと♡笑顔

2016.1 発行
vol.10

<http://ehime-cms.com/>



「100歳の笑顔」 写真提供:グループホーム 陽だまり

～目次～

- P2—年頭言
新年のご挨拶
- P2-6—トピック
合同研修会
- P7—活動報告
ブロック研修
- P8—活動報告
相互研修
活動報告
小規模Net 学習会
事案報告
グループホーム
サービス評価モデル事業
●アンケート調査について
- P9—●あ! 運・進
●うちの看板リレー
- P10—エッセイ
ほっと♡エピソード
お知らせ
ホームページ改装
- P11—●県内事業所の紹介
- P12—●私の1冊
●ちょっとおでかけ・
おすすめスポット紹介
●編集後記



愛媛県イメージアップキャラクター
みきゃん 登録番号 2707005

一般社団法人 愛媛県地域密着型サービス協会

〒790-0056 愛媛県松山市土居田町23-5 烏谷ビル2F

TEL 089-989-2550 FAX 089-989-2557 E-mail: info@ehime-cms.com

新年のご挨拶

一般社団法人 愛媛県地域密着型サービス協会
副理事長 河本 圭仁



新年明けましておめでとうございます。

昨年中は当会へのご理解及びご協力、本当にありがとうございました。無事に平成27年を終えることができました。

さて、平成28年幕明けとなりました。今年も愛媛県地域密着型サービス協会は、介護に携わるすべての方へ感動を与え続けていきます。私たち一人一人が、もともと感動に貪欲となって、もともと幸せに敏感になることで、自然に人を幸せにできるのだと思っております。どんなに小さなご意見でも大切にしますので、何かあれば当会へご連絡ください。この平成28年を一緒に大いに楽しみましょう。皆様と肩を組んで笑いあえる、そんな愛媛県地域密着型サービス協会でありたいと思っております。

どうか、この一年、宜しくお願い申し上げます。

TOPICS

平成27年度愛媛県地域密着型サービス協会 合同研修会

『チャレンジ!!』～「夢」「思い」をかなえよう～

昨年9月18日、テクノプラザにて合同研修会を開催しました。今回は、「チャレンジ!!～「夢」「思い」をかなえよう～」というテーマでグループホームや小規模多機能居宅介護事業所からの実践事例発表があり、その後、「人材育成のエキスパートが語る」と題したご講演を頂きました。

～プログラム～

第1部 「チャレンジ!!」

事例報告

- ① グループホーム やすらぎ(宇和島市)
- ② グループホーム ゆずはなの里(松山市)
- ③ 有介護支援サービスしろもと(上浮穴郡久万高原町)
- ④ グループホーム 陽だまり(新居浜市)
- ⑤ グループホーム うちこ園(喜多郡内子町)
- ⑥ 認知症対応型通所介護事業所 三島の杜(四国中央市)



第2部 人材育成のエキスパートが語る

講演

「高齢者になってわかった、あんなこと、こんなこと」

能力開発システム研究所人材育成推進室室長 曾我部 礼子 氏

表彰

「チャレンジ!!」事例発表の表彰



第2部 講演

高齢者になってわかった! あんなこと、こんなこと

能力開発システム研究所人材育成推進室室長

曾我部 礼子 氏

1 身近なところでの 「あんなこと、こんなこと」

① 高齢者の気持ちを理解した、ある美容室の存在

私が30年近く通う美容室では、白髪染めもカットもしないお客様が出入りし、色々な相談の電話がかかってきます。経営者の方は「よろず相談室だろうか。役に立つ間は、役に立たせてもらったら…」とされていますが、ここにやってくる人たちは、手芸や編み物など色々作って持ってこられます。普通であれば「上手にできていますね」で終わりますが、この美容室ではそれを全部お店の中に飾っています。お土産にお菓子やお野菜などを持ってくる人がいると、「みんなで分けましょう」と「おすそわけ」や「おもてなし」が普通にされています。お客様ではない人まで集まって、お互いが友達になっています。つまり、この美容室は、人と人のつながりを作っているのではないのでしょうか。

高齢者になると、人とのつながりは自分からは作れない、ということを知って欲しいのです。認知症カフェなどは、人とのつながりを作る起点になるという意味で作られているのだと思います。

② 高齢者が多い温泉施設で、見事な接客をしている従業員の存在

ある時、私が温泉で身体を洗っていると隣のおばあちゃんが、「私がここに置いていた石鹸がない!」と言って大騒ぎになりました。すると一人の従業員が、見事な接客で対応しました。まず、そのおばあちゃんの訴えを、笑いながらも大きな声で困った顔をして復唱しました。「困った」という顔をするということは共感力であり、まさにカウンセリングの手法です。大きな声で復唱することによって、そこにいらっしゃる他の方にも注意を引き付ける。「一緒に探してね」と言葉では言わないけれど、それによって起きている問題を他の方にも共に感じてもらうということですね。

その従業員は、次に「これ、使いますか?」と代わりの石鹸



を差し出し、「家にもあるかもしれないから探しておいてね」と声を掛けました。この対応のポイントは、全部自分が引き受けるのではなく、課題点をきちんとそのおばあちゃんにも返していること、そして本人の気持ちに寄り添って、恥をかかせない工夫がされていたということではないのでしょうか。

コミュニケーションで大切な要素の内55%は身体言語と言われています。先ほどの温泉施設の従業員は、心配した表情で一緒に石鹸を探しました。身体を動かすことや表情も身体言語なのです。次に38%が語調、言葉の調子です。例えば、しんどそうにしている人は声のトーンが落ちます。腹が立ったら言葉がきつくなります。皆さんが「おはよう」と挨拶する時も、元気の有無により伝わり方に違いがあることはお分かりでしょう。そして残り7%が発する言葉そのものの。つまり、「話す内容」を「どのように伝えるか」ということが、コミュニケーションでは大事だということです。

2 よく言われている 「あんなこと、こんなこと」パート1

① 年をとったら、丸くなる?!

よく「年を取ったから丸くなった」という事を、耳にすることがあります。しかし、年を取っても丸くならない、ならなくても良い、と思っていただきたい。今まで自分が生きてきたこ

とに対する“思い返しの時間”がやっと訪れたのです。若い時は多忙の中、夢中で、生きている意味や証、なぜあの時に一生懸命にやったのだろう、と思い返す間もなく毎日朝から晩まで働きました。このことを誰かに聞いてもらいたいのです。「言い訳もしたい」「慰めてもらいたい」「認めてもらいたい」本来は、身内に聞いてもらいたいのですが、身内がない場合、皆さんに聞いてもらいたいと思うのです。これらを少しも聞いてもらえない事が続くと、心の不満や不具合が生じ“年を取っても丸くならない”と言われる状態になります。

だから、「丸くならんね、あの人は」「もうちょっと穏やかだったらいいのに」とこちらの都合で片づけるのではなく、ストロークが不足している状態と思ってください。ストロークとは、「話を聞いたり」「なでたり」「認める」「ほめる」ことです。ストローク不足になると、「私のことを知ってよ、聞いてよ、言いたいよ」という状況になります。「愛と注目、欠乏症候群」という言葉があるのですが、これは、愛を求めている、注目を求めている状態で、注目を浴びるために暴力的な言葉の表現になることがあるのだと思っていただくと、なるほどと理解できると思います。

②「笑顔」や「感謝」が多いハズ？！

利用者さんの「笑顔」や「感謝」の言葉は嬉しいものです。仕事の励みにもやりがいにもなります。しかし、それらができないことが多いのだと思っていただくと、戸惑わなくてもすむと思います。いつも、利用者さんに心の余裕があるとは限りません。本当は一人で静かに過ごしたい、なぜかイライラする、体調が悪い、何もしたくない等、色々な理由が複雑にからみあい、それらができない時もあるのです。言われた時だけの「笑顔」かもしれません。ありがとうという「感謝」は利用者さんに心の余裕がある時だけ、いつも心に余裕があるとは限らない、と考えを拡げて受け止めてみてください。そうすると、皆さんが受け止めるストレスも少なくなるのではないかと思います。利用者さんの「笑顔」や「感謝」の言葉が無かったからといって、自分を責めないでください。一生懸命やっているのだから、きっと分かってくれているはずですよ。

一般的に自分や仕事に「自信」や「確信」が持てない時ほど、人は「人との関係力学」や「人の好意」といった曖昧なもの(ありがとう、にっこり笑う等)に敏感になる傾向が強いと言われています。例えば、体調が悪い時ほど人の好意が



嬉しかった、しんどい時や辛い時にかけてくれた一声が嬉しかった、といったことはありませんでしたか。つまり、曖昧なものに敏感になることで自信や確信が持てるようになり、曖昧なものに鈍感になっていくことでストレスが無くなっていくのです。

仕事は「研修」と「学び」の場です。日常の中での学習計画（キャリアプラン）を立てていくと、楽しくさえなっていくと思います。今日はこれをやってみよう、チャレンジしてみようとか、或いは「Aさんが、しんどそうだったから、今日はAさんに焦点を絞って関わってみよう。」という風に計画を立てていくのも良いかもしれません。

③出会った瞬間のペース合わせで、相手の状態を理解する 達人をめざそう！

利用者さんの姿が明るく前向きに見えたりする時もありますが、悲しく寂しいと思っていることの方が多いと思ってほしいのです。いつも明るく前向きでいることは、若い人でも難しいと思います。そのように理解すると、支援のヒントがあるのではないのでしょうか。

人は、出会った瞬間に相手にペースを合わせる。お喋りの人はマイペースで、こちらが話したいのに話をさせてくれません。それでは相手のペースが分かりません。相手にペース合わせることで、利用者さんの本来の思いや状態を理解する達人をめざしていただきたい。そのための6つのポイントをご紹介します。

1) ペース合わせの代表システム

①視覚（相手を見る） ②聴覚（一生懸命聴く） ③運動感覚（相手の動きを感じる）

2) 語調：どういう語調や表現で話しかけるか、分かりやすい言葉の表現、言い換えが大事

3) 呼吸：呼吸から感じ取る。ゆっくり？深い？浅い？早い？

4) 姿勢：前にかがんでいないか等、どんな姿勢なのか見る

5) 表情：顔には情報がつまっている。表情も言葉、そのメッセージをどう読むか。

6) 視線：視線を相手に合わせる

3 よく言われている 「あんなこと、こんなこと」パート2

①職場や家庭の中での倫理観の受け継ぎができなくなってきた！

倫理観とは何でしょうか。古くさい言い方ですが、人と人の道と言えば良いのでしょうか。

人生の先輩から学ぶことが、凄く大事ではないかなと思います。今年の皇居の歌会始で一番目に詠まれた、小林理央さん（中学3年生）の歌をご紹介します。短歌の好きなおばあちゃんの影響を受けて詠んだ歌だそうです。

「この本に 全てがつまっている訳じゃない

だから私が 続きを生きる」

本に書かれていること以外に大切なことがいっぱいある。だからこれからの人生で、自分が生きながらそれを獲得しよう、という思いが込められているのではないかと思います。皆さんも、利用者さんから倫理観を受け継いで欲しいと思います。

②介護の仕事は尊くて深い仕事

介護の仕事は、高齢者の心身を毎日、そして人生の終わりまで“抱える”尊くて深い仕事です。「人間関係の基盤」とその背景となる「しぐさ」「眼差し」「言葉」を現場の体験で学ぶ高い価値観を持った職員が勤め、組織をあげてその素晴らしさを地域の方々にも知っていただきたいと願っています。またそうすることで、職員の方々の自信にもつながり、新しい職員の獲得と定着にも影響を与えてゆくのでは？と思います。多角的に、そして意識的に一つの商品を売り込むかのごとく広告活動をしていただき、「ここに地域の宝あり」と胸をはって、これからもお仕事をなさっていただきたいと心から願っております。

最後にある川柳をご紹介します、今日の話を終わりたいと思います。

「良き介護 そんなことより 望むのは 私の目を見て 5分の会話」(NHK介護百人一首)



「チャレンジ!!」事例発表を終えて

金賞
受賞

グループホーム 陽だまり

発表後、たくさんの方からのメッセージとても感動しました。会場にご本人をお連れするかどうか迷いました。認知症の人ではなく近藤信美さん自身を知って頂きたいということ、認知症を患われた方自身の声として伝わるいいなあと考え、ご本人自身と相談して決めました。金賞を頂き、ご本人の生活にもより張りが出たように感じています。職員もこのチャレンジを通して成長できた事が沢山あります。人生の黒子集団として精一杯支えて行きたいと思っています。本当にありがとうございました。



道後温泉 大和屋本館にて

グループホーム うちこ園

「みんなで楽しみ、笑顔になるために」今まで経験したことのない楽しい事を企画して、みんなで楽しんでみた事例について発表をしましたが、参加者の多くの皆様からの賛同・称賛・励まし等のメッセージを頂きましたので、職員全員で共有して喜びを分かち合いました。今後も入居者の皆さんと一緒に楽しく笑い合いながら生活して行けるよう「笑顔を引き出す」を合言葉に、日常的な働きかけを継続していきたいと思っています。

グループホーム やすらぎ

Aさんとの関わりを通して、日々の変化を見ながら、スタッフが意識して関わる大切さを改めて感じる事ができた良い期間となりました。現在も継続していますが、病状から考えると一人でトイレに行くという目標は困難かもしれません。しかし、一緒に取り組むことで、Aさんの気持ちに寄り添い、信頼関係の構築ができたと思います。

今後はADLだけでなくQOLにも目を向け、入居者様が生活の中で、張りややりがいを感じて頂けるよう取り組んでいきます。

グループホーム ゆずはなの里

参加された皆様からご意見・応援いただき、とても励みになります。今日も皆さんのメッセージをみてやる気を出しています。

たくさんの課題があり、どこから手を付けていいかわからない状態でした。発表すると期限を決めて取り組みました。取り組んだ内容は、ほかのホームでは当たり前に行っていることと感じています。仕事を見えるようにしたことで職員は自信がついたと思います。課題は山積みですが、一つずつ取り組み、ご利用者・職員の笑顔を引き出せる職場にしていきたいです。

認知症対応型通所介護事業所 三島の杜

合同研修会では、私達「三島の杜」の取り組み内容についてお聞きいただき誠に有り難うございました。事業開設から試行錯誤しながら業務を進めてきました。今回の事例発表は、自分たちの目標や方向性を整理する良い機会となりました。実際には、「稼働率100%を目指す」という目標を掲げていたわけではなく、地域の方々に「認知症対応型通所介護」というサービスを知って頂き、有効に活用して頂きたい。その為には、沢山の方に利用して頂きたいという思いからでした。皆様の感想などを読ませて頂き、私達の趣旨が伝わっていることに喜びを感じました。沢山の温かいお言葉を頂き、今後の業務の励みとなります。また、他施設の取り組み内容をお聞きすることで、出来ないと決めつけずに挑戦することの意義を再確認できました。今後も、皆様と一緒に地域密着型施設の一員として一緒に歩ませて頂きたいと思っています。有り難うございました。

(有)介護支援サービス しるもと

心に響くメッセージの数々、ありがとうございます。寄せられたメッセージを今回のチャレンジに関わった者～利用者さん、職員～ みんなで拝読し、私達が挑んだことが実を結んだのだとあらためて感じました。このチャレンジを通し、法人内の事業所の全員が一つになることができました。そして、いつもお世話になっている地域への恩返しができ、また、こどもたちの笑顔を見ることができました。これをきっかけに再認識した「あきらめ無用」の気持ちを忘れず、これからも利用者のみなさんとともに、歩んでいきます。

本当にありがとうございました。

研修報告 ブロック研修

東予ブロック

東予ブロックでは毎回多くの方が受講され、いつも熱気にあふれています。そして研修終了後には数多くのご意見を寄せていただいています。受講者からのメッセージの一部をご紹介します。

- 脳を知れば、認知症は理解できる。とても良いお話でした。
- このような研修に繰り返し参加していないと、実際には動けないと思いました。
- 人の死について考えさせられました。自然死の難しさを感じました。
- 環境を変えることが良いということがわかりました。利用者さんに快く過ごしてもらえるヒントになりました。



中予ブロック



今年度は今まで好評だった内容を取り上げながら、より実践的に、より身近に感じてもらえる内容にしたいと計画しました。アンケートでも、「実践的な内容だった」「職場でもすぐ活かしたい」という声も聞かれ、少しでも皆さんのお役に立てたかなと思っています。

また、「もっと聞きたかった」「同じ内容でもまた聞きたい」という声も聞かれました。「同じ内容」でも講師の方の個性、テーマの切り口や構成が違っていると、ぐんと奥が深く何度でも聞きたくなるのでしょうか。

研修は、新しい知識を増やす場でもあり、分かっているものでも実感できなくなっているものを取り戻す機会、いつも見ていたものを違う角度から見る機会にもなるのだと思います。来年度もたくさんのご参加をよろしくお願いします！一緒に学びを深めていきましょう！！

南予ブロック

今年度の研修は介護保険制度から日常生活のコミュニケーション、今さら聞けない事や専門的な知識まで幅広い分野で研修を行っています。新任の職員さんには「目から鱗で直ぐにでも実行できそう」、ベテランの職員さんには「振り返りの機会になり、モチベーションが上がった」など、たくさんのご意見をいただきました。

また、昨年度行った「福祉系男子交流会！」は「普段話せないことや聞けない事」、「福祉系男子あるある」まで、色々な情報を共有できたと好評でした。

今後も、会員の皆様の「日々の悩みや疑問」、「学びたいこと」、そして「旬な話題」等を研修に取り入れていけたらと考えておりますので、皆様のアイデアを気軽にお伝えください。それでは、南予地区の皆様はもちろんのこと、地区以外の会員の皆様のご参加もお待ちしておりますので、よろしくお願いします。



研修報告 相互研修

平成18年から始めました相互研修は、

- ①研修先の事業所の取り組みを学習し、気付きを得る。
- ②自分たちの事業所の取り組みを改めて考え、見つめ直す機会にする。
- ③相互研修を機会に事業所間・スタッフ間の交流が深まりネットワーク構築、拡大になる。



を目的に今年で10回目を迎えました。

上記の目的通り、参加された方々からは「他事業所の様子やこだわりを知る事によって勉強になりました。」「介護の仕事の大切な心や基本を改めて考えさせられました。ありがとうございました。」等々、次年度も参加を是非したいという声が多数あげられています。

しかしながら、前年度と引き続き参加者の人数は減少傾向にあります。当協会の相互研修員としましては、『他の事業所が見られて良かった』という内容から、『誰の何のために』という事を意識した内容の充実を図ることが必要かと考えています。具体的に次年度は、参加者の経験に応じた内容の工夫を行い、ステップアップ出来る仕組みを考えております。

今まで通り、初めての方も気軽に参加出来て、数回目の方は更に学びの機会が広がる研修になるよう努めて参ります。皆様のご参加をお待ちしております。

研修報告 小規模Net学習会

今年度の小規模Net学習会では、主に制度改正における留意点、ライフサポートワークの視点、運営推進会議を活用したサービス評価の3点を取り上げて学習会を開催しました。その内、運営推進会議を活用したサービス評価については、全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会より事務局長 山越孝浩氏をお招きし、評価の視点と具体的な流れを掴む学習会を開催しました。これからも、より良い小規模多機能型居宅介護を目指して、お互いが学習し合える場として開催したいと思いますので、気になるテーマなどは是非ご意見をお寄せください。

“小規模Net” 学習会のお知らせ

平成28年2月17日(水)開催予定!

講師 全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会
事務局長 山越 孝浩 氏

詳しくは当協会ホームページをご覧ください

事案報告 グループホームサービス評価モデル事業

今年度取り組んでいる「グループホームにおける新たなサービス評価モデル事業」もいよいよ佳境に入ってきました。昨年10月から12月末までに自己評価を30事業所、内10事業所が外部評価を行い、その内容について意見や感想等のアンケートをお願いしました。この結果を踏まえ、さらにより良いものにするために精査、見直しを行い、3月までにはモデル案として完成させ、県に提案させていただく予定です。

モデル事業にご協力いただいた事業所の皆さま、そして検討委員会ならびにワーキング部会に関わってくださった皆さまに心よりお礼申し上げます。



小規模多機能型居宅介護 及び看護小規模多機能型 評価サービスに係る アンケート

平成27年度4月の制度改正で導入された、運営推進会議を活かした新たなサービス評価の取り組みに、事業所はもちろん関係各者も手探りの状態が続いています。サービスの質向上を図る手立てとしてこの評価のしくみがうまく機能するよう、当協会では、県内の事業所の実施状況や課題についてアンケート調査を実施することに致しました。

平成28年2月22日(月)までにご回答よろしくお願いします!

※アンケート用紙は当協会ホームページでもダウンロードできます。

あ みんなの運営推進会議

うん しん 運・進

おおむね2ヶ月に1回開催することが義務付けられている運営推進会議ですが、そのテーマ(議題)や進め方に頭を悩ませているという声をよく耳にします。そこで運営推進会議の内容や工夫していることなどを皆さまから募り、紹介させていただくことにいたしました。

グループホームあかり・しおりにおける運営推進会議

グループホームあかり・しおりは、宇和島市丸穂(まるお)の小高い山の上に位置し、グループホームがすぐ隣同士に、あかり、しおりと並んでいる作りになっています。両ホームをデッキで繋ぎ、自由に行き来ができる建物の作りになっているのも特徴です。

あかりは開設して次の4月で丸6年、しおりは丸3年が、経ちます。隣接しているホームなので、お互い地域やご近所は同じです。ですので、運営推進会議では、あかり・しおりが合同で2カ月に1度、開催しています。開催場所は、あかり・しおり順番にホームのホールやリビングで行っています。

主に参加していただいている方は、利用者、家族、高齢者福祉課または包括支援センター、小学校、保育園、民生委員、の方々です。

推進会議の内容としては、活動報告、スライドショーを活用した報告、行事や予定の案内、ヒヤリハット報告、意見交換等が主な所です。

過去には推進会議の中で、地域医療機関のご協力の下、地域公開医療講座を開いていただき、認知症、健康管理、病気について等数回に分けて開催したこともあります。

また、地域の民生委員さんから、地域サロンについての取り組みをお話いただき、あかり・しおりを地域サロンの会場として提供するきっかけにもなりました。

推進会議を通してできた繋がりから、声をかけ話を聞かせてもらうことで、見えてきたもの、実現できたこと等もあります。しかし、まだまだ会議の内容や議題、参加者のニーズ、地域の現状や声など手探り状態のものも多く、日々勉強だと感じています。

『運営推進会議』、一見とても難しい会議なんじゃないの?そう感じる方もおられるのではないのでしょうか。そうではなく、肩の力を抜いた気軽に意見が言える会議の企画・運営を行っていきたくと思っています。

今後も、その都度生まれてくる課題やニーズを把握し、事業所として何ができるか、どうすればよいかを考え、地域の方々と一緒によりよいホームを目指していければと思っています。



グループホームつばさ 原田 八千代

看板リレー今回はうさぎの「うーちゃん」の紹介です。

グループホームつばさのアイドルうさぎのうーちゃん。動物セラピーをしたいというスタッフの提案でつばさに1羽のうさぎがやってきました。

ゲージから出してもらい走り回るのが大好きなうーちゃんは、利用者さんやスタッフの足のまわりをクルクルと回ったり、前足で人の足をかいたり、おやつが欲しい時は「うたっち」というポーズでおねだりするんですよ、うさぎって賢くてなつく動物なのですよ!利用者さんがうーちゃんに声を掛けたり、牧草をあげたりと微笑ましい姿をよく見ます。

つばさでやっている駄菓子屋の名前は「うーちゃんの駄菓子屋」この子がモデルになっています。うーちゃんに会いに来る子供さんもいて、つばさの一員として活躍しています。



うちの看板リレー
エピソード募集!

事業所で「大切にしている動物」、「思い入れのある物」との心温まるエピソードを募集しています。ぜひ紹介したいと希望される事業所は、当協会の広報委員会までご連絡ください。



ほっと♡エピソード

日常での利用者とのさりげない感動エピソードを
現場の新人スタッフから聞きました



東予

ブロック

グループホーム はとり 門田 昭子さん

元郵便局員で勤続30数年が自慢のHさん、郵便局の赤い車が大好きです。ある日の散歩の時間、「あー好きじゃ赤い車」とHさんが車いすから手を振ると、なんと赤い郵便車が止まってくれました。Hさんと職員は大喜びHさんは感涙に咽びます。一緒に職員もウルウル、つられて感動してしまいました。それから2人はとっても仲良しです。ありがとう郵便屋さん。♡



中予

ブロック

「ありがとう」

グループホーム おあしす 越智 久美子さん

仲の良いIさんとMさんは廊下で2人談笑されています。
Nさんは、毎朝いつも大きな声で皆さんに挨拶されています。
Oさんは、スタッフの状態を良く見ていて、声を掛けて下さいます。
個性豊かな利用者方ですが、皆さん介助後にいつも「ありがとう」とおっしゃって頂けます。
あたり前の様に言われる「ありがとう」ですが、こころ温まります。又頑張ろうと思える瞬間です。



南予

ブロック

グループホーム きらり 萩森 日出子さん

一か月程前に、新しく私達のホームに入所されたT様。なんと御年100歳になられます。口癖は「スマン、スマン」「ありがとね」です。
一緒に歩けば「スマン、スマン」お食事を差し上げれば「ありがとね」。
その言葉だけでも癒されるのに、トイレに行こうとされ、ふと見ると相棒でもある押し車の代わりに、座っておられた椅子をゴトゴトと押して歩かれていました。「こちらですよ」と押し車をお教えると「ありゃ! スマン、スマン」と満面の笑顔。
いつも笑顔で感謝の言葉を忘れないT様。これが長生きの秘訣なのかもしれませんね。私達こそ本当に「ありがとうございます」です。



お知らせ

地域密着型サービス協会の
ホームページを
改装しました!

<http://ehime-cms.com/>

協会のホームページをもっと活用しやすく、わかりやすいページにリニューアルしました。情報の発信や表現をもっと見やすく協会の皆さまはもちろん、一般の方にも協会に興味をもってもらえるように頑張っていますので、よろしくお願い致します。研修情報など最新情報をアップしていますので、ご覧下さい。
(URLはそのまま変わりません)



イメージ画像

県内事業所の紹介



中 予

- ① たのくぼ(東温市)
- ② ゆうかの里(松山市)

南 予

- ③ ほのぼの(鬼北町)
- ④ さくら(内子町)

① 小規模多機能センター たのくぼ

■登録定員数 29名 *通い定員数 18名 *宿泊定員数 9名

小規模多機能センターたのくぼは平成23年4月に開設しました。

「笑顔で優しく親切に一人一人が望まれる介護を懸命に努力します」を理念にかかげ、職員一同日々がんばっています。整地内には、畑や東屋があり、ご利用者様と職員が野菜などを作っています。

(有)イヨメディカル

〒791-0212
東温市田窪917番1
TEL:089-955-5668
FAX:089-955-5662



② グループホーム ゆうかの里

■2ユニット 16名

グループホームゆうかの里は、定員16名の2ユニットの施設です。近くには国立公園『鹿島』もあり静かな環境の住宅地に有ります。

『愛』を理念に掲げ利用者一人ひとりの生活ペースを大切にしながらゆっくりと過ごしていただけるように介護支援を心掛けています。

又、各シーズンには、お弁当を持って外出(初詣・お花見)など利用者に大変喜ばれています。

老後は、ゆっくり、和やかに!

株式会社ことぶき

〒799-2430
松山市北条辻922番地3
TEL:089-993-2205
FAX:089-993-2023



③ 小規模多機能居宅介護事業所 ほのぼの

■登録定員数 25名 *通い定員数 15名 *宿泊定員数 9名

小規模多機能型居宅介護事業所ほのぼのは、南予地域でも山間部に位置する鬼北町にあります。公共機関を利用すると不便な場所ですが、事業所の前には田園風景が広がり、とても静かな場所です。事業所が開設して4年が経ちましたが、「小規模ってどんなところ?」とよく聞かれます。事業所のことを知ってもらうために、利用者の方と地域の行事に出て行くことが、今後の目標です。これからの季節は、雪景色になったりしますが、利用者の皆さんが、笑顔で健康に暮らしていけるように。スタッフも笑顔でがんばっていききたいと思います。

有限会社 ケアサポートいずみ

〒798-1333
北宇和郡鬼北町永野市433番地1
TEL:0895-45-2788
FAX:0895-45-2338



④ 小規模多機能居宅介護事業所 さくら

■登録定員数 29名 *通い定員数 18名 *宿泊定員数 9名

訪問介護をやってきた私達が小規模多機能を開設して2年半があつという間でした。JR内子駅から少し山の方へ入った場所で2階にサービス付高齢者住宅を併設しております。一人一人のご利用者様が穏やかに過ごせる一日を提供したくて職員一同奮闘している毎日です。

春に「お笑い演芸」夏に「ソーメン流し」とご家族や地域の方々と一緒に楽しんでいます。

まだまだですが、よろしくお願いします。

有限会社 さくら介護

〒791-3301
喜多郡内子町内子4271番地10
TEL:0893-44-2700
FAX:0893-44-2703





＜この本の推薦者＞
理事 越智哲哉

「生きかた上手」 日野原重明 <ユーリーグ>

私は、介護の仕事を通じてご利用者の尊厳を守る難しさやスタッフ同士の人間関係の複雑さに触れ、「仕事」や「生き方」について悩む事が都度あります。皆さんもそうではありませんか？

日野原重明先生の「生き方上手」を読み、私は悩みからの「行動」を大切にしています。それは、本の内容に共感してという事もありますが、一番の

理由は先生に負けたくないという思いからです。先生の御年104歳にして尚現役で医師

を続けられ超濃厚な日々に対して、38歳(66歳のハンデを頂いて)にして「悩むだけ」ではあまりにも恰好が悪いからです(笑)

悩みは、行動する事で工夫の種になると私は考えています。この本には、生きる為の種がいっぱいです。

今、生き方についてヒントが欲しい方は是非この本を参考に見て下さい。一歩を踏み出すきっかけになりますように！



ちょっとおでかけ おすすめスポット紹介

新居浜市
総合文化施設・美術館
**あかがね
ミュージアム**

あかがねミュージアムは、H27年7月にオープンした愛媛県新居浜市にある総合文化施設です。館内には、創る・学ぶ・育むをテーマに美術館やアート工房、多目的ホールなどを備え、新居浜伝統の太鼓祭りで実際に使われている太鼓台を展示しており、近くで見ることが出来ます。1階にはカフェもあり、限定のクッキーやワッフルの販売、お食事も楽しむことが出来ます。ぜひ、ご利用者の皆様と足を運んで下さいね。

- ＜連絡先＞ 新居浜市坂井町2丁目8番1号
TEL 0897-31-0305
HP <http://www.akaganemuseum.jp/>
- ＜営業時間＞ 美術館：午前9時30分～午後5時00分
- ＜観覧料＞ 美術館：一般/300円 65歳以上/150円
学生/無料 【団体割引有り】
※団体は20名以上 ※障がい者手帳をお持ちの方と介護者1名は無料
- ＜休業日＞ 月曜日(月曜が祝日の場合は翌火曜)
- ＜施設＞ 美術館・にいはまギャラリー・太鼓台ミュージアム・アート工房・多目的ホール・市民ギャラリー・展示室・カフェ・スタジオ・シアター・屋外ステージ・屋内ステージ
- ＜駐車場＞ 北駐車場・南駐車場の2箇所に約60台分
9:00～22:30(休館日は利用できません)
- ＜駐車料金＞ 1時間まで100円(30分を超える30分ごとに100円)
当館ご利用の際は、3時間まで無料
(新居浜駅南駐車場でもご利用いただけます)



＜交通＞
電車でお越しの方
・JR新居浜駅から徒歩1分
お車でお越しの方
・新居浜ICより車で15分
・松山空港より車で1時間30分
バスでお越しの方
・せとうちバス「新居浜駅」下車すぐ

多目的
トイレあり

身障者専用
駐車場あり

編集

後記

明けましておめでとうございます！今回の「ほっと♥笑媛」はいかがでしたでしょうか。広報委員会では、新しいコーナー「あ！運・進」、「うちのかんばんリレー」に会員の皆さんからの情報をお待ちしています！当協会事務局までメールかFAXでどしどしお寄せ下さい。(広報委員一同)